



立憲民主党
藤田 まさみ

質問項目
◆新型コロナウイルスによる生活困窮者の実態について
◆新型コロナウイルス感染症状況の情報開示について
◆恩多町3丁目34番地内の宅地開発について

問 コロナ禍での生活困窮者の実態把握と対策を！
特例貸付や住居確保給付金以外に生活困窮者向けの対策はあるか。
健康福祉部長 市独自でコロナに限定した新たな事業は行っていない。既存の相談事業の人員体制を強化して対応している。
問 市民にもっと詳しい感染者情報の提供を！
感染者情報の開示内容を伺う。
健康福祉部長 足立区や八王子市は、各区市が設置



つなごう！立憲・ネット
かみまちの子

質問項目
◆学校は、子どもたちの「命」を守れるか
◆パートナーシップ制度の創設を
◆災害ケースマネジメントについて

問 「コロナいじめ」から子どもたちを守る
スクールロイヤーの早期導入を検討するべき。見解を伺う。
教育部長 2年4月に設置した「いじめ問題調査委員会」の委員に弁護士を加えた。いじめ問題に関する法的知見を参考にした解決が有効と捉えており、この成果を検証していきたい。
問 コロナ感染者への差別禁止条例を制定すべきと考えるがいかがか。
市民部長 第5次総合計画の「共生社会の実現」の中に位置づけ、検討すべき課題と捉えている。

議案の質疑

その2

有料自転車等駐輪場の指定管理者の指定
指定管理者制度で運営している17カ所の有料自転車等駐輪場の指定期間が今年度末で終了するため、新たに八坂駅駐輪場を加え、全18カ所を一括して指定管理者の指定を行うものです。
指定管理者はサイカパーキング株式会社で、指定期間は令和3年4月1日から令和10年3月31日までの7年間です。なお駐輪場は、令和3年4月からは、従来の使用料から利用料金制に移行となります。
本議案は賛成多数で可決しました。

一般会計補正予算（第4号）
この補正予算の目的は大きく3点あり、1点目は、令和元年度の決算に伴う剰余金を前年度繰越金とすること。2点目は、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、PCR検査センターの設置等の市民を守る施策や、新しい生活様式を踏まえた行政のデジタル化を推進すること。3点目は、当初予算編成以降の状況の変化に対応するため、民間事業者提案制度による提案の事業化や、保育所等改修費等支援事業補助金、市道舗装補修工事等が盛り込まれています。
歳入歳出それぞれ24億8,811万1,000円を追加し、予算総額を78億8,024万円とするもので、賛成多数で可決しました。

問 指定管理者選定までのプロセスを伺う。
答 選定委員会を4回開催して決定した。1回目は指定管理業務の概要説明を行い、募集要項の内容等を審議した。その後、事業者の募集を開始し、個別相談や質疑応答を経て、6社から応募があった。2回目は審査基準について審議を行い、1次審査で事業者の財務状況の評価や資格要件等を審査し、6社すべてが最終審査に進んだ。3回目は2日間に渡って最終プロポーザルを実施し、4回目は最終審査として提案書、プロポーザルの採点と収支の評価を行い、指定管理者の候補者を決定した。

問 スマートシティの実証事業に、今なぜ着手するのか。
答 ICT等の先端技術を用いた事業の着手が早いほど、時代の要望に合わせた対応ができる。コスト面でも先行者として利益があり、コロナ禍においても行政サービスの向上や事務継続確保が期待できる。
問 実証実験の内容を伺う。
答 AI配車システムによるオンデマンド配車とデジタル決済・ポイントシステムを統合した

問 PCR検査センターの設置場所、検査体制、検査条件を伺う。
答 国の運営マニュアルに基づき、設置場所は非公表としている。検査センターは週3日、1日2時間の実施で、1日当たり医師と看護師、運営管理者の3名による運営を見込んでおり、唾液検査を予定している。また、検体採取数は1日最大30件を想定している。清瀬市、東村山市の医師会加入医療機関を受診し、医師が「検査することが適当」と認めた人が対象となり、医師が検査センターを予約する。
問 検査を受ける場合、費用の自己負担額はあるのか。
答 徴収しないよう調整をしている。

問 住宅耐震化促進事業を使いやすい制度にするため、どのような改善を行うのか。
答 耐震診断は、対象費用の割合を2分の1から3分の2に引き上げ、助成額の上限を4万円から10万円へ増額する。耐震改修は、割合を100分の23から2分の1に引き上げ、上限額を30万円から100万円に増額する。
問 舗装路面側溝等補修工事費の増額の理由を伺う。
答 令和2年度に入り予算不足の道路陥没が多発し、突発的な緊急工事を行ったことから、今後の必要経費相当分を増額した。生活に一番密着した道路に対し、今後も補修工事を実施していく。

問 住宅耐震化促進事業を使いやすい制度にするため、どのような改善を行うのか。
答 耐震診断は、対象費用の割合を2分の1から3分の2に引き上げ、助成額の上限を4万円から10万円へ増額する。耐震改修は、割合を100分の23から2分の1に引き上げ、上限額を30万円から100万円に増額する。
問 舗装路面側溝等補修工事費の増額の理由を伺う。
答 令和2年度に入り予算不足の道路陥没が多発し、突発的な緊急工事を行ったことから、今後の必要経費相当分を増額した。生活に一番密着した道路に対し、今後も補修工事を実施していく。

問 PCR検査センターの設置場所、検査体制、検査条件を伺う。
答 国の運営マニュアルに基づき、設置場所は非公表としている。検査センターは週3日、1日2時間の実施で、1日当たり医師と看護師、運営管理者の3名による運営を見込んでおり、唾液検査を予定している。また、検体採取数は1日最大30件を想定している。清瀬市、東村山市の医師会加入医療機関を受診し、医師が「検査することが適当」と認めた人が対象となり、医師が検査センターを予約する。
問 検査を受ける場合、費用の自己負担額はあるのか。
答 徴収しないよう調整をしている。

問 スマートシティの実証事業に、今なぜ着手するのか。
答 ICT等の先端技術を用いた事業の着手が早いほど、時代の要望に合わせた対応ができる。コスト面でも先行者として利益があり、コロナ禍においても行政サービスの向上や事務継続確保が期待できる。
問 実証実験の内容を伺う。
答 AI配車システムによるオンデマンド配車とデジタル決済・ポイントシステムを統合した

問 指定管理者選定までのプロセスを伺う。
答 選定委員会を4回開催して決定した。1回目は指定管理業務の概要説明を行い、募集要項の内容等を審議した。その後、事業者の募集を開始し、個別相談や質疑応答を経て、6社から応募があった。2回目は審査基準について審議を行い、1次審査で事業者の財務状況の評価や資格要件等を審査し、6社すべてが最終審査に進んだ。3回目は2日間に渡って最終プロポーザルを実施し、4回目は最終審査として提案書、プロポーザルの採点と収支の評価を行い、指定管理者の候補者を決定した。

問 PCR検査センターの設置場所、検査体制、検査条件を伺う。
答 国の運営マニュアルに基づき、設置場所は非公表としている。検査センターは週3日、1日2時間の実施で、1日当たり医師と看護師、運営管理者の3名による運営を見込んでおり、唾液検査を予定している。また、検体採取数は1日最大30件を想定している。清瀬市、東村山市の医師会加入医療機関を受診し、医師が「検査することが適当」と認めた人が対象となり、医師が検査センターを予約する。
問 検査を受ける場合、費用の自己負担額はあるのか。
答 徴収しないよう調整をしている。

問 スマートシティの実証事業に、今なぜ着手するのか。
答 ICT等の先端技術を用いた事業の着手が早いほど、時代の要望に合わせた対応ができる。コスト面でも先行者として利益があり、コロナ禍においても行政サービスの向上や事務継続確保が期待できる。
問 実証実験の内容を伺う。
答 AI配車システムによるオンデマンド配車とデジタル決済・ポイントシステムを統合した

8月臨時議会

8月4日に臨時議会が開催され、令和2年度一般会計補正予算（第3号）の審議が行われました。
この補正予算は、国の令和2年度第2次補正予算において拡充された「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、速やかに実施する施策に係る予算7億1,631万5千円を新たに計上したものです。
議会はこの補正予算を賛成多数で可決しました。

オンライン議会報告のお知らせ

東村山市議会では、議会基本条例にのっとり、定例議会ごとに議会報告会を開催してきました。新型コロナウイルス感染症の終息が未だ見えない中、6月定例議会の報告に続き、9月定例議会もオンラインでの報告とさせていただきますことをご了承下さい。
今回は、議案と令和元年度決算についての各党派からの報告の2本立てです。
また、オンライン議会報告アンケートも同時に行います。
今後の参考にするため、ご意見をお聞かせください。
（※アンケートは外部サイト「Googleフォーム」を利用しています）



議会報告動画



アンケート

★動画配信はホームページでご覧いただけます
【東村山市議会のページ】 → 【市議会の活動状況】 → 【議会報告会】 → 【令和2年】 → 【令和2年第3回議会報告会】



12月定例議会は11月27日（金）に始まります。